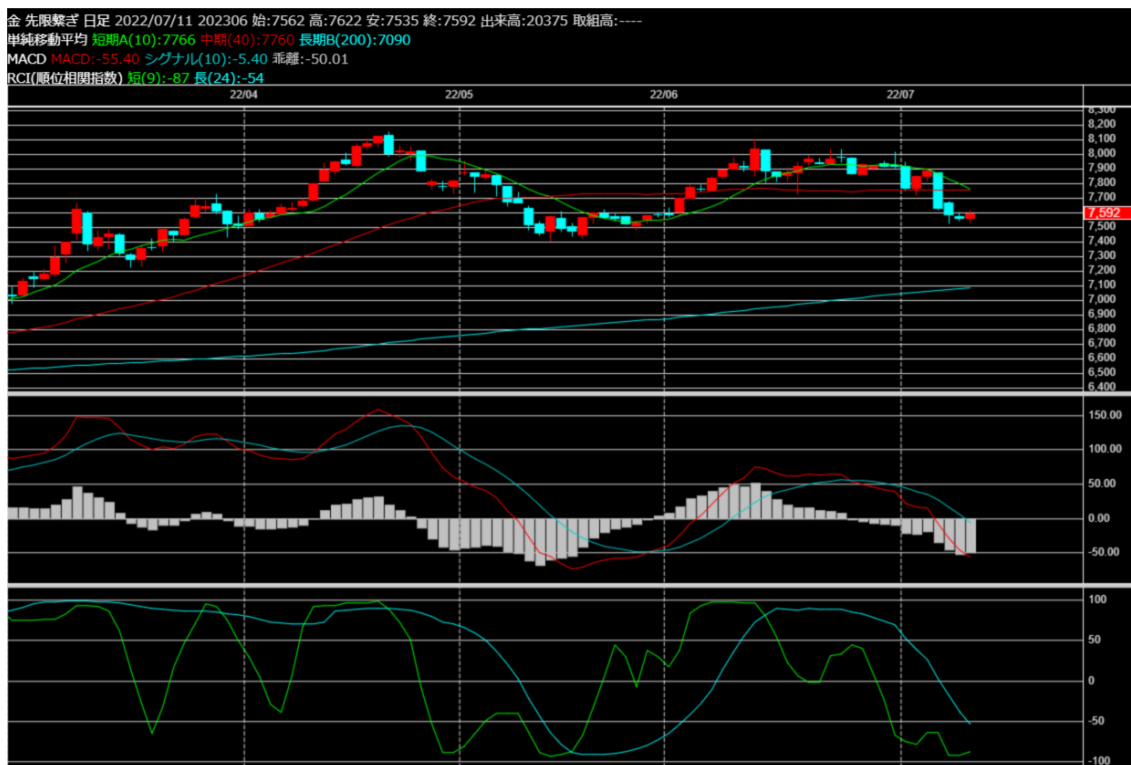


## ＜金標準先物、ECB、FOMC を睨み 7500 円で下げ止まれるか・・・＞



(出所：オアシス)

ロシア産のエネルギー依然度が高い欧州経済は、今後ロシアがエネルギー供給を渋る可能性が強く、欧州経済には悪影響を与え、景気減速の懸念が強まるだけに ECB は積極的な利上げ実施を行う事が出来ないとの思惑が強まり、スイス中銀が発表した 6 月の外貨準備高も減少し、スイス中銀の対ユーロの為替介入が終了した事を示した事で、20 年ぶりにユーロはスイスフランに対してパリティを超えるフラン高を見せている。そのため 2015 年 1 月 15 日にスイス中銀が 1 ユーロ : 1.2 スイスフランの上限撤廃を突然発表したケースと類似し、NY 金は 2 日間で 84.5 ドルの大幅下落を演じている。その事で金標準先物も 7900 円から 7523 円まで大きく反落している。週末の雇用統計では、非農業部門就業者数が事前予想を上回る 37.2 万人増となるなど、27 日の FOMC では 0.75% の利上げを肯定する内容となり、円安効果もあり、金標準先物は 7500 円を維持する値動きを見せている。

ただ WGC が発表した 6 月の金 ETF では 28 トンの資金流出を示し、5 月の 53 トンの流失に続く 2 ヶ月連続で資金が流失している。特に今週は大幅下落した後でもあり、自律反発の域も想定される事から 21 日の ECB 理事会まで 7500 円を試す値動きには注意したい。

### ＜テクニカル＞

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** と **シグナル** が下げており、RCI では **短期** が下げ止まり、**長期** が下げるなど基調転換のサインであるクロスは発生していない。また 5 月に 7400 円を試したケースのオシレーターが類似しており、7500 円で下げ止まるとリバウンドが予想されると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,590,000 円(2022 年 7 月 11 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 7 月 11 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>